

<地方創生と第2期総合戦略>

第2期「八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、人口減少克服に主眼を置いた施策を重点的に推進するために策定するものであり、若者を中心に、多様な世代が生き生きと暮らし、働き、子育てできるまちを目指します。

<基本的な考え方>

Society5.0において人と企業に選ばれるまち“やつしろ”の実現を目指し、次の3つの考え方を基本として取組みを推進していきます。

- ◆ AI、ICT、ロボット、ビッグデータ等を活用したDXを、誰一人として取り残さない、人に優しい形で推進します。
- ◆ 令和2年7月豪雨からの復興、新型コロナウイルスによる社会の変容を踏まえた地方創生を目指します。
- ◆ SDGsの理念に沿った地方創生の取組を進め、持続可能な“やつしろ”の実現を目指します。



基本戦略Ⅰ
住みたいまち

重要業績評価指標
[住み続けたいと思う市民の割合] 76.8%⇒80.0%
[人口社会増減率] △0.26%⇒△0.20%

1 災害に強く安心して暮らせるまちづくり

- (1) 多様な担い手による防災の推進
◆ 防災人材の確保・育成 ◆ 自主防災組織の活躍推進
◆ 防災協力企業等の確保
- (2) 防災・減災のための基盤整備
◆ 多様な避難先の確保 ◆ 各地域を結ぶ道路網の強靱化
◆ 地域イントラ(回線・サーバ)の冗長化
- (3) 先進技術を活用した防災・減災の推進
◆ ICTやAIを活用した防災情報の発信・収集体制の構築
◆ スマート避難所の導入 ◆ 防災への新たな技術の導入促進

2 全ての人々が利便性を享受できるデジタル化の推進

- (1) 交通・決済等の生活面におけるデジタル化の推進
◆ 誰もが利便性を実感できる「デジタル活用支援」
◆ 新技術の導入による移動の利便性向上
◆ 自家用有償旅客運送など多様な輸送サービスの充実 等
- (2) いつでも・どこでもつながる市役所づくり
◆ マイナンバーカードの普及促進 ◆ 行政手続きの電子化
◆ オープンデータ化の推進 ◆ 市政情報を届ける広報ツールの多様化等
- (3) 先進技術による庁内業務の効率化
◆ 業務の自動化・効率化 ◆ 内部業務のデジタル化
◆ 行政のDX化に向けた組織体制の強化及び人材の育成

3 地域資源を活かした多様な交流の実現

- (1) スポーツを活かした交流人口の拡大
◆ スポーツ合宿・スポーツ大会の誘致 ◆ スポーツツーリズムの推進
◆ ホストタウン推進による相互交流
- (2) 歴史・文化を活かした交流人口の拡大
◆ 日本遺産を活かした交流促進 ◆ 民俗伝統芸能伝承館の整備活用
◆ 八代城築城400年の機会活用 等
- (3) 多文化共生のまちづくり
◆ ICTを活用した情報発信・多言語化の推進 ◆ 国際交流協会の設立
◆ 日本人市民・外国人市民が相互理解を深める場の創出
- (4) 物産をきっかけとした魅力向上
◆ 市内物産館の活用 ◆ SNSを活用した情報発信
◆ ふるさと納税事業の推進とマーケティングツールとしての活用
◆ 物産展や体験イベントによる特産品に触れる機会の創出

基本戦略Ⅱ
働きたいまち

重要業績評価指標
[若者・子育て世代が5年後に帰ってくる人数] 351人⇒360人
[事務職・IT関連職の求人倍率] 0.38⇒0.50
[高校新卒者管内就職意向割合] 26.8%⇒30.0%

1 挑戦する人と企業を応援するまちづくり

- (1) 中心市街地を核としたICT産業の集積と人材の育成
◆ 空き店舗等を活用したIT関連産業の集積
◆ 企業が求めるICT人材の育成
◆ コワーキングスペース・アーケード空間を活用したイベント開催
- (2) 関係人口の創出・拡大とUIターン受入れ
◆ 地域企業における都市部の副業人材活用の促進
◆ 市内各地区でのリモートワークの推進とアクセス強化
◆ 求人情報と移住・定住情報の一元化 等
- (3) 地域企業の成長支援
◆ やつしろ未来創造塾による若手経営人材の育成
◆ 地域をリードする企業の育成 ◆ 地域企業のDX導入支援
◆ 地域企業の雇用確保に対する支援 ◆ 技術の継承に対する支援

2 稼げる農林水産業の推進

- (1) スマート農林水産業の推進
◆ 農林水産業への先端技術の導入支援
◆ AIを活用した出荷予測による戦略的な生産・販売の推進
◆ 企業の新技術実証試験等への連携・協力 等
- (2) 新規就農者に対する支援
◆ 八代農業塾による新規就農者の育成
◆ クラウドを活用した営農相談・技術支援システムの導入
◆ 多様な農業形態に応じた就農支援 ◆ 空き農地等の情報提供手段の構築
- (3) 農林水産物のブランド確立・販路拡大
◆ 民間ECサイト等のITを活用した販路の開拓
◆ 販路拡大のための拠点づくり
◆ 消費者ニーズを踏まえた新商品開発

3 南九州のゲートウェイ「八代港」の利用促進

- (1) 航路誘致へのポートセールスと八代港を活用する企業の誘致
◆ 企業訪問等によるポートセールス ◆ 八代港を活用する企業の誘致
- (2) くまモンポート八代の利用促進
◆ くまモンポート八代でのイベント開催や誘致による利用促進
◆ くまモンポート八代周辺施設との連携事業 等
- (3) クルーズ船による地域の活性化
◆ 広域連携による周遊ルートの開発及びPR活動
◆ 官民一体となったおもてなしの推進 等

基本戦略Ⅲ
育てたいまち

重要業績評価指標
[希望出生率] 1.88⇒2.00
[子ども女性比※] 20.8%⇒25.5%
※15-49歳女性人口に対する0-4歳人口の比。出生率の代替指標。

1 次代を担う子供の育成

- (1) 1人1台のタブレットPCを活用した新たな時代を豊かに生きる力の育成
◆ EdTechの活用による学びの個別最適化及び課題解決能力の育成
◆ オンライン学習の実施等による学びの保障の実現
◆ 家庭との情報連絡体制の構築
◆ 校務支援システムを活用した校務の効率化の推進
◆ ICTの活用を支える体制及び環境づくり
- (2) 子供の生きる力を育成する学校・園教育の充実
◆ 学力・心理面を測定するテストの実施と結果に基づいた対策
◆ コミュニティ・スクール等による地域との連携・協働の推進
◆ 多様な背景をもつ児童生徒等を支える支援員の適切な配置と充実
◆ やつしろの未来を担う子供たちの郷土愛の育成 等
- (3) 快適な教育環境の整備
◆ 教育環境の質的な向上を図る整備 ◆ 地震等の災害に備えるための整備
◆ 老朽化・長寿命化対策を図る整備

2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり

- (1) 結婚・妊娠期から子育て期にわたる包括的な支援体制の充実
◆ 結婚の希望をかなえる支援体制の充実
◆ 子育て世代包括支援センターによる支援体制の強化
◆ ICTを利用した相談体制及び情報発信の強化
- (2) 子育て世帯の経済的負担の軽減
◆ 充実したこども医療費助成の実施
◆ 第三子以降の保育料及び副食費の無料化の実施
- (3) 子育て世帯の精神的負担の軽減
◆ こどもプラザを拠点等とした親子の交流促進
◆ 子ども家庭総合支援拠点による支援体制の充実

3 仕事と家庭を両立しながら楽しく子育てできるまちづくり

- (1) ICTを活用した子育て支援の推進
◆ 保護者のニーズに応じた情報発信
◆ 子育てサービスを利用しやすい環境整備
- (2) 質が高く利便性の高い保育環境づくり
◆ 保育士等の事務処理等の軽減による保育の質の向上
◆ 病児・病後児保育の利用しやすい環境整備
- (3) 子育て中や子育て後でも就労しやすい環境づくり
◆ リカレント教育の推進 ◆ キャリアチェンジの支援